

Let's enjoy!



# ガーデニング

vol.32

初めての方のために  
作りました。

## 芝生のある素敵なお庭を造りましょう



### 暖地型芝（高麗芝）

#### 特徴

暑さと乾燥に強く、夏30℃以上の高温になっても成長するため「夏芝」とも呼ばれます。日本では寒くなると生育が止まり、葉が枯れて休眠状態で冬を越して春になると新芽を出してまた生育を始めます。

#### 芝張り時期

3月～5月 9月～10月

#### 適した場所

日当たりが良い場所  
風通しが良い場所  
水はけがよい場所

### ● 栽培カレンダー

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生育状況		休眠期	張りつけ期	生育期	生育最盛期	生育最盛期	生育最盛期	生育最盛期	生育期	張りつけ期		休眠期
刈り込み					月1～2回	月2～3回	月2～3回	月2～3回	月1～2回			
水やり						乾きすぎないように行う						
肥料 (有機芝の肥料の場合)			芽出し肥として液肥を与えましょう			休み		芝刈り後にあげましょう				

### 芝生の張りつけ（高麗芝の場合）

#### ① 整地



レーキなどで深さ3～5cm耕します。地面が固かったり凹凸が激しいときは、砂などを入れて平らにします。

#### ② 芝を並べる



芝を張る部分にひもを張り、ひもに沿って端から順番に苗を並べていきます。

#### ③ 目土を入れる



張り終わったら、継ぎ目のすき間に目土を入れて埋めます。

#### ④ 芝を土にならす



苗と地面が密着するように、端から順番に足でよく踏んでいきます。

#### ⑤ 灌水



最後に水浸しになるくらいしっかりと水をあげます。

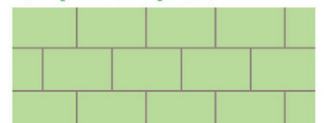
#### 張り方の種類

##### 目地張り



芝の間隔を3～4cm離して並べるので均一になるまで3～4ヶ月掛かりますが、目地から栄養を補給できるおすすめの張り方です。

##### 平（ベタ）張り



すき間を空けずに敷きつめるので芝苗を多く使用しますが早く仕上がります。

他にも市松模様の市松張り。5～10cm幅に芝を切り5cm程度のすき間を空けて張っていく条張りがあります。



# 芝生のお手入れ

## 芝刈り

5月～10月の間に月に1～3回、生育に応じて行います。  
刈高は3～5cmの高めに設定することで根が伸びやすくなり、強い芝に仕上がります。

### 広いスペースの場合



刈り込む高さを設定します。  
(普通は一番高い所に設定しておきます。)



芝生の上の石などを取り除いて、芝生が乾いた状態で刈り込みます。この時電気コードの巻き込みに注意しましょう。

### 狭いスペースや縁部の場合



芝刈り機が使えないような狭いスペースや石の縁などの周辺では小回りの利く①芝生バリカンや②芝生バサミを使用します。

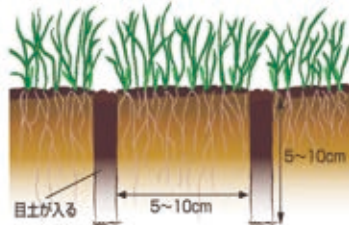


## エアレーション (7～8月)

芝生は多年草なので、栽培中に土を耕してあげることができません。そこで定期的に芝生にエアレーション(穴あけ作業)を行い、通気性や透水性を高めてあげる必要があります。



ローンパンチを足で踏み込み芝生に5～10cm間隔で穴をあけていきます。



穴をあけることで、土の中に空気が入り、水がしみ込みやすくなります。

## サッチかき (7～8月)

芝生には、枯葉などが半分分解したような状態で層ができています。これをサッチといい、これが溜まると芝生内が多湿になり、カビやキノコの温床となってしまいます。1～2年に一度はサッチを取り除いて目土を入れてあげましょう。



サッチが溜まると、こんな状態になります。



金属製ガーデンクリーナー等でサッチをかき出して処分しましょう。

## 目土入れ

目土を入れることで、すり切れにより表面に露出した茎の保護や根の生育範囲の拡大、芝生の凸凹の補正に効果があります。  
主に4～6月の作業になりますが、エアレーションやサッチかきの後にも行います。



芝生の上に目土をまきます。



芝生のすき間に目土をすりこみます。

## 肥料やり

5月・7月・9月は、2週間おきに1坪当たり約250gの有機芝の肥料を与えます。その後水をたっぷりあげると、肥料の効きが良くなります。



ムラなく均一にまくのがポイントです。少量ずつまき重ねるように施しましょう。

## 西洋芝

寒地型芝は冬季も緑色の葉を保つので「冬芝」と呼ばれます。春と秋に生育し、5℃以下になると生育は止まりますが、葉が枯れることはありません。西洋芝は、一般的にタネから育てます。